

— アジア・イノセンス・ネットワーク大会2025 —

東アジアにおけるえん罪救済の これまでとこれから



申込
フォー
ム

2025.12.07 (日) 10:00-17:30 | 龍谷大学深草校舎

THE 2025 ASIA-PACIFIC SYMPOSIUM ON WRONGFUL CONVICTIONS AND THE INNOCENCE MOVEMENT
PARTICIPANTS FROM : JAPAN | SOUTH KOREA | TAIWAN | MALAYSIA

□■国際シンポジウム■□
アジア・イノセンス・ネットワーク大会 2025
東アジアにおけるえん罪救済のこれまでとこれから

■日時 2025 年 12 月 7 日(日曜日)10 時から 17 時半

■場所 龍谷大学深草キャンパス慧光館(えこうかん)101 教室
キャンパスマップ https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/fukakusa.html

■参加費 無料

■参加お申込みをお願いします → <https://forms.gle/QRumad6SU6bJwjfv8>



■シンポジウムの趣旨

司法制度は国によって様々ですが、えん罪は、どの国にも存在しています。えん罪の原因も、驚くほど各国で共通しています。

他方で、えん罪救済の領域には、各国において新たな立法や議論状況が展開してきています。本シンポジウムでは、日本、台湾、韓国、マレーシアの、アジアの国々において近年浮かび上がってきている、人質司法、再審法改正、死刑とえん罪などの重要な論点を取り上げて、議論します。

* アジア・イノセンス・ネットワークとは

アジアでえん罪救済運動に取り組む団体のつながりです。2018 年に、イノセンス・プロジェクト・ジャパン (IPJ) と、台湾イノセンス・プロジェクト (TIP) が呼びかけて、立ち上がりました。今回は、第4回の大会です。台湾イノセンス・プロジェクトのほか、台湾民間司法改革基金会(JRF)と、韓国及びマレーシアの、同じ志を持った研究者・実務家が集まります。

■プログラム■

★総合司会: 湯浅彩香 (IPJ/大阪弁護士会)・今西貴大 (今西事件当事者)
日本語で開催いたしますが、ところどころ、英語(逐次通訳)が入ります。

10:00 - 10:20 開会セッション

はじめに	石塚 章夫 (IPJ 理事長/埼玉弁護士会)
ごあいさつ	マーク・ゴッドシー *ビデオ出演
	(イノセンス・ネットワーク国際部会共同代表/ オハイオ・イノセンス・プロジェクト)

10:20 - 12:10 Session1「取調べと人質司法」

セッションの趣旨	司会: 伊藤 睦 (IPJ/京都女子大学)
基調講演	渕野 貴生 (IPJ 理事/立命館大学)
コメント	ミョンキ・キム (韓国国立警察大学) (英語/逐次通訳)
コメント	顔 榕 (TIP 理事/台北大学)
質疑	

12:10 - 13:20 休憩 (昼食はご持参いただくか近くの飲食店等でお済ませください。会場で持参した昼食をとっていただけます)

12:55 - 13:15 スペシャルトークセッション

聞き手: 湯浅彩香・今西貴大
松本優作監督 WOWOW 連続ドラマ「シリウスの反証」撮影を通してえん罪について考えたこと

13:20 - 15:00 Session2「再審法改正——台湾におけるここ10年の経験から学ぶこと」

セッションの趣旨	司会: 洪 維徳 (TIP 監事/台北弁護士会)
基調講演	謝 煜偉 (TIP 理事/台湾大学)
コメント	川崎 拓也 (IPJ 理事/大阪弁護士会)
質疑	

15:00 - 15:20 休憩

15:20 - 17:10 Session3「死刑とえん罪」

セッションの趣旨	司会: 羅 秉成 (TIP 理事長) (英語/逐次通訳)
基調講演	アブドゥル・ラシッド・イスマイル (クアラルンプール弁護士会) (英語/逐次通訳)
コメント	張 樺哲 (台湾民間司法改革基金会(JRF)) (英語/逐次通訳)
コメント	笹倉 香奈 (IPJ 事務局長/甲南大学)
質疑	

17:10 - 17:30 閉会セッション

おわりに	羅 秉成 (中国語/字幕付)
写真撮影	

主催: イノセンス・プロジェクト・ジャパン (IPJ) 台湾イノセンス・プロジェクト (TIP)

台湾民間司法改革基金会(JRF) Rashid Zulkifli

後援: Ohio Innocence Project University of Cincinnati Law School

龍谷大学矯正・保護総合センター IPJ 学生ボランティア

